

安全データシート (SDS)

1. 製品および会社情報

製 品 名 : NR プライマーM
会 社 名 : 三ツ星ベルト株式会社
住 所 : 兵庫県神戸市浜添通 4-1-21
電 話 番 号 : 078-685-5771
推 奨 用 途 : 防水工事用塗料粗面仕上げ用添加剤
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用を禁止する

2. 危険有害性の要約

【GHS 分類】

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 2

健康有害性

急性毒性 経口 : 区分に該当しない
経皮 : 区分に該当しない
吸入 ; 気体 : 区分に該当しない
吸入 ; 蒸気 : 区分 4
吸入 ; 粉じん、ミスト : 区分 3

皮膚腐食性 / 刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性 : 区分 2 B

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 分類できない

誤えん有害性 : 分類できない

環境有害性

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分に該当しない

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分に該当しない

オゾン層への有害性 : 分類できない

【GHS ラベル要素】

[絵表示]



[注意喚起語]

危険

[危険有害性情報]

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有毒（粉じん及びミスト）

吸入すると有害（蒸気）

眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

[注意書き]

〔応急措置〕

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

火災の場合：消火するために適切な消火方法をとること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。

〔保管〕

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

〔廃棄〕

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : プライマー

成分	含有量(%)	CAS RN.	化管法 (PRTR)	安衛法 表示／通知対象物質
ウレタン樹脂	25-35	—	該当しない	該当しない
酢酸エチル	65-75	141-78-6	該当しない	表示／通知対象物質 政令番号 第 177 号
酢酸ブチル	5 未満	123-86-4	該当しない	表示／通知対象物質 政令番号 第 181 号

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

医師に連絡すること。

特別な治療が緊急に必要である。

皮膚に付着した場合

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

データなし

医師に対する特別な注意事項

データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤

周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。

使ってはならない消火剤

棒状注水

火災時の特定危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスクなど）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡・マスクなど）を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合、吸着剤（土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

〔技術的対策〕

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

容器を接地すること。アースをとること。

火花を発生させない工具を使用すること。

防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。〔安全取扱注意事項〕

〔衛生対策〕

特になし

保管

〔技術的対策〕

通風のよいところに保管する。

日光の直射を避ける。

〔安全な保管条件〕

『10. 安定性及び反応性』を参照。

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

〔安全な容器包装材料〕

製品使用の容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

濃度基準：設定されていない

管理濃度：酢酸エチル 200ppm、酢酸 n-ブチル 150ppm

許容濃度：

ACGIH：

酢酸エチル：TWA 400ppm、STEL -

酢酸 n-ブチル：TWA 50ppm、STEL 150ppm

日本産業衛生学会：

酢酸エチル：200ppm(720mg/m³)

酢酸 n-ブチル：100ppm(475mg/m³)

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保護具

呼吸用保護具：必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク等を使用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。

手の保護具：必要に応じて保護手袋を着用する。
有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋が望ましい。

眼、顔面の保護具：必要に応じて保護眼鏡または防災面を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。
取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また
化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

特別な注意事項

データなし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 液体
色	: 淡黄色透明
臭い	: 溶剤臭
融点／凝固点	: -83℃（酢酸エチル）、-78℃（酢酸ブチル）
沸点又は初留点及び沸点範囲	: 77℃（酢酸エチル）、126℃（酢酸ブチル）
可燃性	: 引火性の高い液体及び蒸気
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 下限 2.18vol%（酢酸エチル）、1.7vol%（酢酸ブチル） 上限 11.5vol%（酢酸エチル）、7.6vol%（酢酸ブチル）
引火点	: -3.9℃（タグ密閉式）
自然発火点	: 200℃以上
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 有機溶剤に可溶
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	: log Pow=0.73（酢酸エチル）、1.82（酢酸ブチル）
蒸気圧	: 75mmHg（酢酸エチル、20℃）、1.2kPa（酢酸ブチル、 20℃）
密度及び／又は相対密度	: 0.96（25℃）
相対ガス密度	: 3.04（酢酸エチル）、4.0（酢酸ブチル）、空気=1
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 水、アルコール、アミンなどの活性水素化合物と反応する
化学的安定性	: 通常の保管・取り扱い条件において安定
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし
避けるべき条件	: 水、アミン等の活性水素
混触危険物質	: 水、アミン等の活性水素
危険有害な分解生成物	: 燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物などを生じる

11. 有害性情報

急性毒性	:
経口	: 区分に該当しない（LD ₅₀ 5000mg/kg 以上）
経皮	: 区分に該当しない（LD ₅₀ 5000mg/kg 以上）
吸入	: 気体；区分に該当しない 蒸気；区分 4（LC ₅₀ 55027ppm、推定値）

	粉塵、ミスト；区分 3（毒性値なし）
皮膚腐食性／刺激性	： 分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	： 区分 2 B（酢酸エチル、酢酸ブチル：区分 2 B）
呼吸器感作性又は皮膚感作性	： 分類できない
生殖細胞変異原性	： 分類できない
発がん性	： 分類できない
生殖毒性	： 分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	： 区分 2 B（酢酸エチル、酢酸ブチル：区分 2 B）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	： 分類できない
誤えん有害性	： 分類できない

1 2. 環境有害情報

生態毒性	： 区分に該当しない
魚類	： 区分に該当しない
甲殻類	： 区分に該当しない
藻類	： 区分に該当しない
残留性／分解性	： データなし
生体蓄積性	： データなし
土壌中の移動性	： データなし
オゾン層への有害性	： データなし

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	： 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。
汚染容器および包装	： 空きの汚染容器および包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者や処理業者と契約し、廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び関係法規、法令を遵守して、適正に処理する。

1 4. 輸送上の注意

国連番号	： 1 1 3 3
品名（国連輸送名）	： 接着剤
国連分類	： クラス 3
容器等級	： II
海洋汚染物質	： 該当
MARPOL73/78 附属書 II 及び	： 該当
IBC コードによるばら積輸送される液体物質	
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	： 特になし
国内規則	
陸上輸送	： 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	： 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 : 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送の特定安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。密栓してあることを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
火気厳禁。

1 5. 適用法令

化管法（PRTR）	: 該当しない
安衛法	:
危険物	: 引火性の物
特化則	: 該当しない
有機則	: 第二種有機溶剤
法 5 7 条 表示物質	: 酢酸エチル、酢酸ブチル
法 5 7 条の 2 通知対象物質	: 酢酸エチル、酢酸ブチル
安衛則 5 7 7 条の 2 第 3 項 がん原性物質	: 該当しない
安衛則第 5 9 4 条の 2 皮膚等障害化学物質	: 該当しない
毒劇法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
化審法	: 優先評価化学物質 酢酸エチル
船舶安全法	: 引火性液体類
航空法	: 引火性液体
その他法令	:
海洋汚染防止法	: 有害液体物質（Z 類物質）（施行令別表第 1）、酢酸エチル 有害液体物質（Y 類物質）（施行令別表第 1）、酢酸ブチル

1 6. その他の情報

参考資料 JIS Z 7252 (2019)
JIS Z 7253 (2019)
GHS 改定 7 版 (2017)
独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム
各原料の安全データシート
実務者のための化学物質法規制便覧 2 0 2 0 版（化学工業日報社）

本安全データシート（SDS）は、作成日又は改定日までに弊社が入手できた資料、情報に基づいて作成しておりますが、新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は推奨用途を対象としたものですが、その内容を保証するものではありません。